

笑顔広がる「藤枝」の未来のために



藤枝江崎新聞店 CSRレポート 2015年度版



「情報をお届けする」という本業を通して、藤枝の方々がより豊かに暮らせる社会の実現を目指し、CSR活動^(※)を心を込めて推進していきます。

藤枝江崎新聞店

藤枝市藤枝1丁目4-12 TEL054-641-0537 FAX054-644-5520

グループ

<http://ezaki.ne.jp>

江崎書店・藤枝オリコミニピーアール
SBS学苑 藤枝校・旭光興業・The Label

安心して暮らせるまちに

「元気ですか」高齢者の安否を確認

平成26年(2014年)5月30日(金曜日) 静岡新聞

社員全員が認知症。サポート養成講座を修了



ピーブスを着用して事業をPRする新聞販売店代表者ら=藤枝市民会館

藤枝で高齢者見守り、声掛け

枝市高齢者見守り声かけサービス事業開始式



藤枝市の五つの新聞販売店は同市と連携した高齢者の見守りと声掛けサービス事業を6月から始める。市によると、新聞販売店と行政が無償の登録制で見守り事業をするのは県内でも珍しいといい。29日、市民会館で開始式が開かれ、販売店に配達員が着用するビデオが進呈された。

事業を始めるのは、太田新聞店。対象は市内で暮らす65歳以上の1人暮らしや高齢者同士の世帯など。サービスを希望する人は、毎月1度活動記録を市に見守りを行って、配達員が夕刊配達に報告する。不在時に留守宅のポストにカードを差し入れて異変があった場合は市や警察に通報する。各

区の一部は対象外。藤枝江崎新聞店と義崎新聞店、いわてに新聞店新聞販売店は、新聞店の江崎晴城社長が「暮らしやすいまち」を実現する事業の一環として行政と協力してい」とあいだ。北村正義市長は、「地域に貢献する事業ができるのは光榮。日本一暮らしやすいまちを目指して行政と協力をしたい」と述べた。

藤枝署は26日、警察の事件を教訓に注意し、個人に署名感謝状を贈った。藤枝署は26日、警視庁に協力した12団体をもつて「もういい」と語った。出雲孝夫署長は、「身

曜日の無事は間違な市民に大きな支えにならなければいけない」と期待した。市による本音は、「暮らしのが約30歳以上ある。

柳原は26日、警視庁に感謝状を贈った。「新聞に載らない地元の事件簿」を掲載したところが評価された。

藤枝署は26日、警視庁に感謝状を贈った。河野は「実際に起つた件を収集する」として、藤枝署は26日、警視庁に感謝状を贈った。河野は「実際に起つた件を収集する」として、藤枝署は26日、警視庁に感謝状を贈った。

藤枝署は26日、警視庁に感謝状を贈った。河野は「実際に起つた件を収集する」として、藤枝署は26日、警視庁に感謝状を贈った。

新聞販売5店、市と連携

藤枝市の五つの新聞販売店は同市と連携して高齢者の見守りと声掛けサービス事業を6月から始める。市によると、新聞販売店と行政が無償の登録制で見守り事業をするのは県内でも珍しいといい。29日、市民会館で開始式が開かれ、販売店に配達員が着用するビデオが進呈された。

事業を始めるのは、太田新聞店。対象は市内で暮らす65歳以上の1人暮らしや高齢者同士の世帯など。サービスを希望する人は、毎月1度活動記録を市に見守りを行って、配達員が夕刊配達に報告する。不在時に留守宅のポストにカードを差し入れて異変があった場合は市や警察に通報する。各

区の一部は対象外。藤枝江崎新聞店と義崎新聞店、いわてに新聞店新聞販売店は、新聞店の江崎晴城社長が「暮らしやすいまち」を実現する事業の一環として行政と協力してい」とあいだ。北村正義市長は、「地域に貢献する事業ができるのは光榮。日本一暮らしやすいまちを目指して行政と協力をしたい」と述べた。

藤枝署は26日、警視庁に感謝状を贈った。河野は「実際に起つた件を収集する」として、藤枝署は26日、警視庁に感謝状を贈った。

お年寄り人命救助で表彰

2月26日(水曜日)

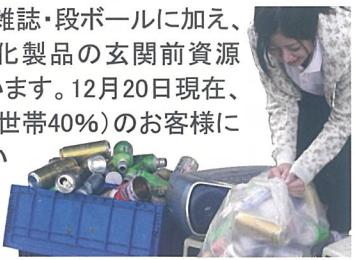
江崎新聞店従業員 藤枝署が感謝状

2月26

福祉と環境に優しいまちに

玄関前無料資源回収で広がる善意の輪

古新聞・書籍・雑誌・段ボールに加え、金属・カン・電化製品の玄関前資源回収を行っています。12月20日現在、13,404件(読者世帯40%)のお客様にご登録いただけております。



藤枝千本桜プロジェクト

藤枝の里山再生を目指して総合運動場周辺にサクラを植樹しています。新聞古紙リサイクルを基金としてこれまでに7年で634本を植えました。今年は、今まで植樹した苗木のお手入れをする「育樹会」を実施しました。今後もさくらの新名所づくりにご協力下さい。

回収基金で
サクラを植樹

藤枝江崎新聞店

障害者福祉施設

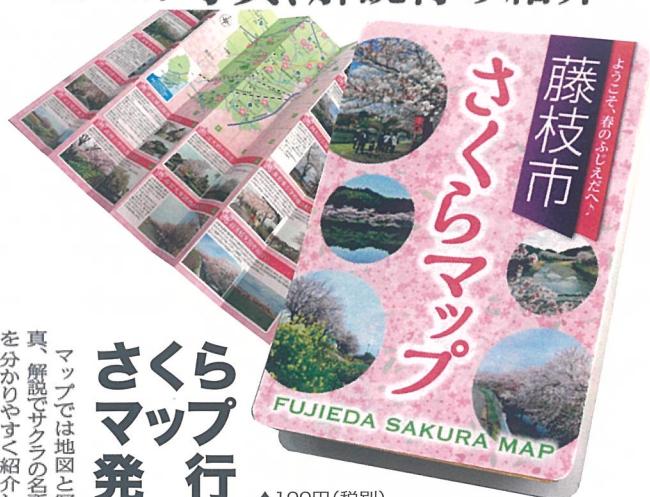
読み終わった新聞がサクラになります

平成26年(2014年)3月9日(日曜日) 静岡新聞



藤枝江崎書店は藤枝市内のサクラの名所26カ所を紹介する「さくらマップ」を作製した。持ち運びに便利なポケットサイズからすぐにA4判に開く「ミウラ折り」を採用している。8日から同店発売を開始した。

26カ所 写真、解説付け紹介



マップでは地図と写真、解説でサクラの名所を分かりやすく紹介している。県中部地区最長といわれる約2キロのサクラのトンネルとなる「金砂橋—勝草橋—瀬戸川沿い」や、蓮華寺池公園などへ通じて同公園をサクラの新名所にしようという活動も掲載している。担当者は「これまでサクラの名所をまとめた地図はなかった。さくらマップを持ってぜひ春の藤枝を満喫して」と話している。マップは1部10円(税別)で1万部作製。同書店のほか、藤枝新聞店や市観光協会でも販売している。

さくらマップ行
さくらマップ発

▲100円(税別)

サクラ名所マップついかが

